

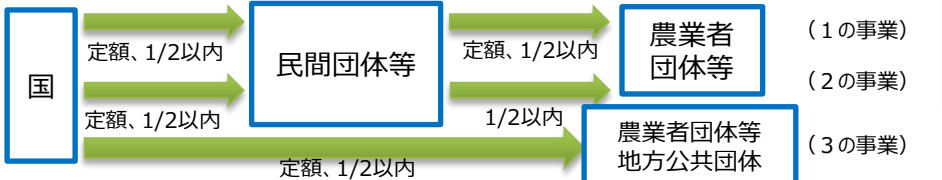
＜対策のポイント＞
自給飼料の増産に向けて、①難防除雑草の駆除及び駆除対策の活用・普及等の取組、②高品質な完全混合飼料（TMR）の安定供給を図るための取組、③公共牧場の活用拡大と機能強化の取組を支援します。

＜政策目標＞ [平成25年度→平成37年度まで]
○飼料作物生産量：350万TDNトン→501万TDNトン ○飼料自給率：26%→40% ○飼料作付面積：89万ha→108万ha

＜事業の内容＞

- 1. 草地難防除雑草駆除対策
○ 難防除雑草駆除計画を策定した農業者団体等が、計画に基づき行う難防除雑草の駆除（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材の投入、優良品種の導入等）や駆除対策の活用・普及等の取組を支援します。
- 2. 高品質TMR供給支援対策
○ 完全混合飼料（TMR）の品質改善計画を策定したTMRセンターが、TMR原料の品質向上技術実証のために行うバンカーサイロの補改修の取組等を支援します。
- 3. 公共牧場活用生産基盤強化支援対策
①生産基盤強化計画を策定した農業者団体等が、計画に基づき行う夏期預託から周年預託への転換、公共牧場自ら行う肉用子牛の生産や乳用後継牛の供給の取組等を支援します。
②コントラクターや生産組合が、利用率の低下した公共牧場を有効活用するために行う機械導入や施設改修等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 難防除雑草駆除による高位生産草地への転換

＜難防除雑草の例＞

ギシギシ

シバムギ

→ 策定した計画に基づき除草剤の散布等を実施 →

難防除雑草の繁茂しない生産性の高い草地

2. 高品質なTMRの安定供給

バンカーサイロ

長年の利用によりコンクリートが劣化 → サイレージの品質低下

補改修 →

密封性の向上・異物混入が無くなる等により高品質サイレージの生産が可能

品質の高いTMRの安定供給

3. 公共牧場の活用拡大、機能強化

草地改良

→ 生産性向上

収穫機械導入

畜舎整備

カーフハッチ導入

牧柵整備

以下の取組を実施する際に必要な施設、機械、家畜の導入等
・夏期預託から周年預託への転換、預託月齢の早期化による 預託期間の延長 等